

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : ガスタウンビジネスカレッジ

留学期間 : 平成 27 年 5 月 14 日 ~ 平成 27 年 12 月 11 日

私は 7 か月間のカナダへの留学で語学学校とビジネススクールでのインターンシップを経験し、英語力はもちろんのこと、人間力も成長できた留学生活だったと思います。

カナダに到着し初めの 3 週間は ILSC という語学学校に通いました。そこでは自分が苦手だと思う Grammar のクラスを選択しました。苦手な Grammar を英語で勉強するうえで、カナダについたばかりの私はまだ英語を話すだけの環境に慣れず、授業内容を理解するどころか先生の話す英語を聞き取ることには精いっぱいでした。それを改善するために授業中に聞こえてきた自分が理解できなかった単語をメモし、家に帰っての学習でそれらの単語を辞書を使って意味を調べ、ノートにまとめるようにし、ただ覚えるだけではなく実際に会話の中で使ってみることを心がけました。ですがその会話の面でも、初めころは英語を話すことに慣れていないために辞書を持ちながら友人と会話している状態で、私は韓国人の友人に「まだ全然英語話せなくてごめんね」と謝ったことがあります。するとその子は私に向かって「謝る必要はないよ。話そうとする姿勢を見せるだけでみんなは理解しようとしてくれるよ。」というアドバイスをもらいました。私はその言葉を聞いたとき、「確かに自分の失敗を恐れてしまうと、言葉話すうえで一番大切だとおもう自分の意思を伝えるということができない」と気づくことができました。それ以来は学校の友人やホストファミリーと話すときは、失敗を恐れずに自分が思ったことを伝え、伝わらなかったときはまた違う言い方をしてみたり、試行錯誤を繰り返しました。そうすると相手もだんだん私の言いたいことを理解してくれるようになり、間違った文法を使っているときは正しい使い方を教えてくれる人もいました。私はこの韓国人の友人がいなければこういうことに気づくことができなかったと思っています。彼女とは私が語学学校を卒業してからも何度か一緒に出掛けたり、お互い自分の国にかえった今でも連絡を取り合っています。

また、私は語学学校の他に、Gastown Business Collage というビジネススクールに授業と無給のインターンシップを含めて 3 か月間通いました。授業では discussion やプレゼンテーションなど英語力を伸ばす授業内容はもちろん、カナダでの履歴書の書き方や面接の仕方、カナダ人の性格や特徴などインターンシップを経験するための知識を養ったりしました。

カナダに来て 3 か月が経った頃、ビジネススクールでの 1 1 週間の授業を終え、インターンシップに向けてクラスメイト達が様々な企業に面接に向かう中、私は日本にいた時からここで絶対にインターンシップがしたいと決めていたバンクーバー国際空港の WestJet というカナダで国内線を主に飛ばしている航空会社の面接を受け、カスタマーサービスアシスタントとして採用していただきました。その中で私たちインターンシップ生の仕事は、チェックインカウンターに行かなくても、お客様が自分でチェックインを済ますことができる“Kiosk”という機械の横に立ち使い方を教えたり、その機械から発行されるバゲッジタグをお客様の受託手荷物に付けてあげるといった仕事でした。

インターンシップが始まるまでの期間は航空会社で働くための知識を養うために Web トレーニングで事前学習を行いました。飛行機が向かう場所を示す都市コードや空港コード、お客様が機内に持ち込むことのできないものや受託手荷物などのサイズなど Westjet で実際に働かれている方と同様の知識を身につけるために各自その内容をまとめるためにノートを作ったり、ともに働く友人と都市コードのクイズを出し合ったりとお互いが成長できるように心がけました。また、空港で働くうえで、自分の会社や任されている仕事の内容だけではなく、セキュリティはどこにあるのか、駅はどこにあるのかなどといった空港内のこともお客様に聞かれた際にしっかりと説明ができるように覚えておく必要がありました。そのために休日は友人と空港に出掛け探索してみたり、お互いにお客様がどのような質問をしてくるのか想定し、答え方を考えてみたりもしました。

実際に働いてみると思っていた以上にネイティブの方の英語を話すスピードが早くて聞き取れないことや、フライトがキャンセルになってしまったお客様にどのような対応をすればいいのかなど Web トレーニングだけでは補えない、働いてみないとわからないことがたくさんありました。その時は一緒に働いている従業員の方に次に同じことが起こった時にどのように対応するべきかなどを質問し的確な答えを教えてもらっていました。バンクーバー国際空港で働く経験を経て毎朝早朝に出勤したり、クレームの対応をするときなど働くことの大変さを痛感しましたがそれ以上に毎日たくさんの人と出会うことの楽しさや、接客する時間は短くても、なるべくその方々が自分の顔を覚えてくださるように心がけて、一人一人と少し会話をしてみたりと様々な楽しさを見つけ出すことができました。

そしてこの7か月間、語学の面はもちろん、多文化都市のバンクーバーにいたからこそ出会えた様々な国の方々や、その方たちはそれぞれ異なった文化をもっていること、そしてそれをお互いに理解しあって生活していくことの大切さを学ぶことができました。そういうことに気づくことができるようになったことが7か月間カナダで過ごし人間的に成長できたところだと感じています。そしてこの経験を活かし、将来は国際空港で海外のお客様をしっかりとサポートでき、空港のことなら何事も熟知している空港スタッフになり、海外から日本に来られたお客様がもっと日本のことを好きになってもらえるような接客ができることを目標にこれからも励んでいきたいと思えます。